

# 1. はじめに

## 1.1 背景と目的

二本松市は、平成 17 年 12 月 1 日に、二本松市、安達町、岩代町、東和町の 1 市 3 町が合併し、地域が拡大したことに伴い、乗合バス路線が 25 路線（生活バス路線 23 路線、自治体バス路線 1 路線及び廃止代替路線 1 路線）、他に福祉交通（福祉バス、福祉タクシー）及び学校交通（スクールバス、学童保育送迎）を運行し、公共交通確保対策を講じている。しかし、近年のモータリゼーションの進展や少子高齢化の進行等により、利用者数が年々減少の一途をたどり、市の財政負担が増大してきている。また、乗合バス事業の規制緩和などにより、バス事業者の生活バス路線からの撤退が懸念されるなど、公共交通サービス環境が大きく変化してきている。

このような環境の中、市民の足である公共交通の確保がいかにあるべきか、将来像のビジョンなどを検討し、市民が利用しやすく持続可能な公共交通となるよう、現状の交通体系の見直しを含めた公共交通計画の策定を行った。

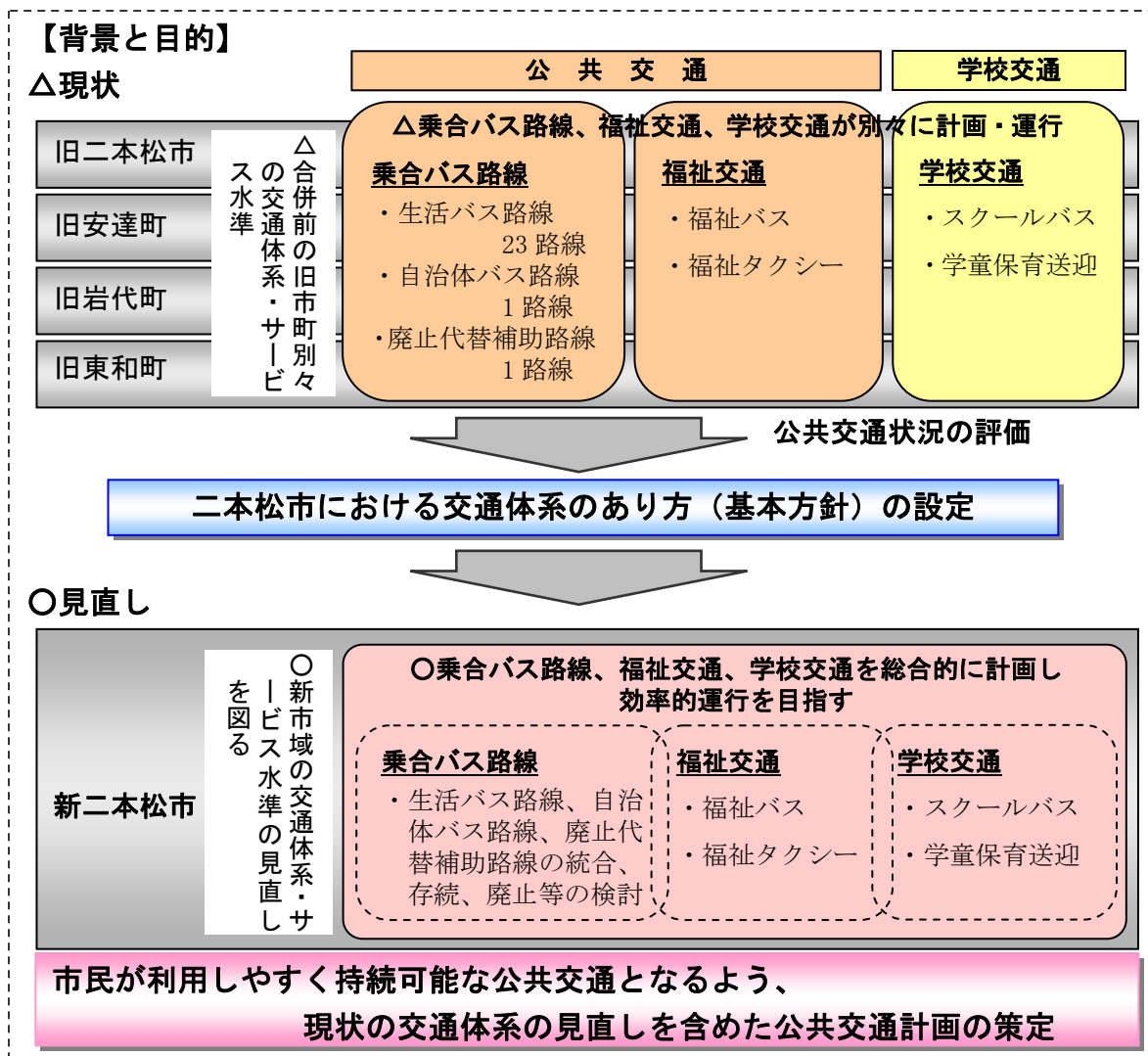


図 1-1 計画策定にあたっての全体像